

# 資料 3

建築・都市整備・道路委員会  
平成 29 年 5 月 10 日  
道路局

## 相模鉄道本線（星川駅～天王町駅）下り線の 高架化による整備効果について（報告）

相模鉄道本線（星川駅～天王町駅）連続立体交差事業は、平成 29 年 3 月 5 日に下り線を高架化しました。この下り線の高架化により、高架区間内の踏切の待ち時間と渋滞が大幅に減少し、大きな効果が確認されました。

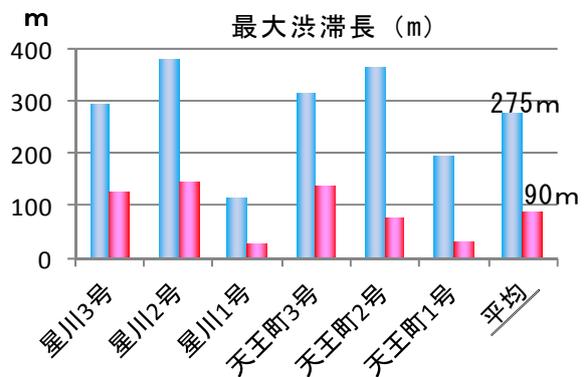
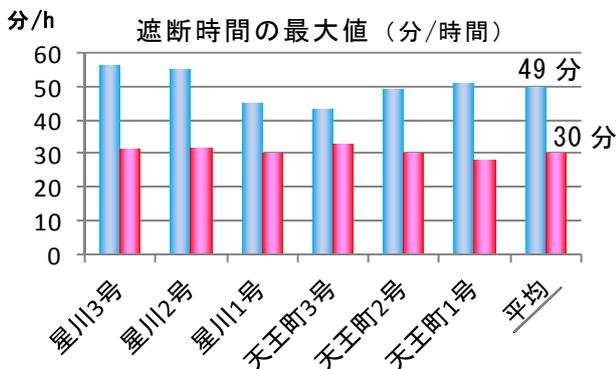
また、今回の整備により、事業区間内の全ての「開かずの踏切※」が解消されました。

※「開かずの踏切」：ピーク時の遮断時間の合計が「40 分/時間」以上の踏切



### ●下り線の高架化による効果について

1 日の中で、各踏切における遮断時間の最大値は、平均で **39% (19 分) 減少**、最大渋滞長は、平均で **67% (185m) 減少** しました。



◇遮断時間の最大値  
1 時間毎の「踏切が閉まっている時間の累計」が最大となる値

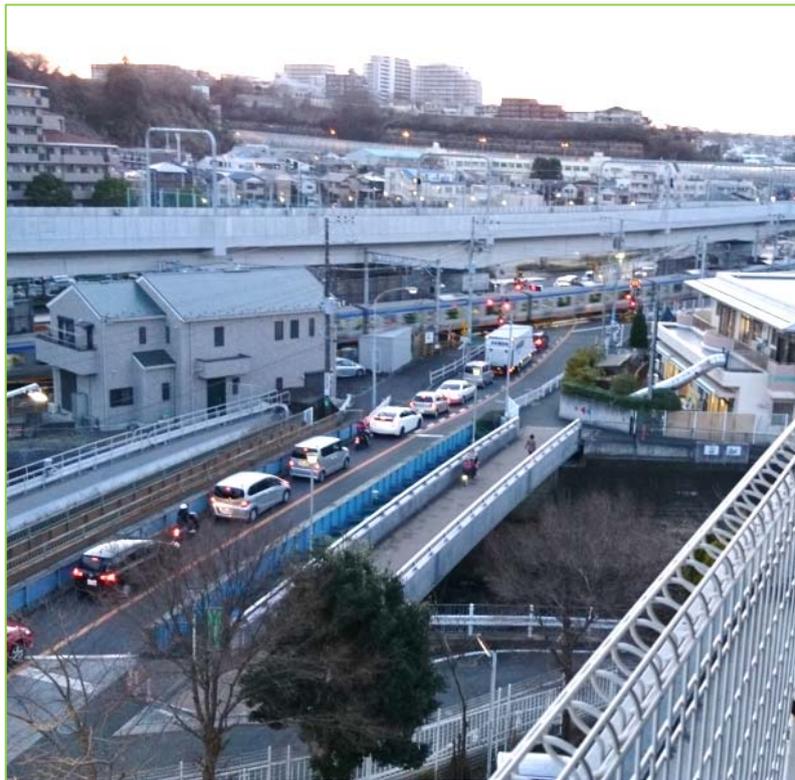
■ 高架化前 ■ 高架化後

◇ 高架化前は平成 11 年調査結果

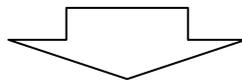
### ●今後のスケジュール

平成 30 年秋の全線高架化を目指し、その後、既存線路の撤去、星川駅、天王町駅の改築工事、周辺道路の整備を進めていきます。

**【参考】** 星川 2 号踏切の渋滞状況（17 時 40 分頃）



星川 2 号踏切 高架化前



星川 2 号踏切 高架化後